

三重の交通事故

《令和7年12月末》
【確定版】



目次

第1 三重県の交通事故発生状況	1
第2 全国・管区の交通事故発生状況	2
第3 人身事故の特徴	3
1 人身事故の特徴	3
2 路線別	4
3 曜日別・時間別・昼夜別	4
4 地形別・道路形状別	5
5 事故類型別	6
6 第1当事者の年齢層別	7
7 第1当事者の法令違反別	8
8 第1当事者の居住地別	8
9 状態別・年齢層別死傷者	8
10 シートベルトの着用状況	9
11 飲酒運転事故	9
12 警察署別	10
13 市町別	11
14 各種別	12

三重県警察本部

三重県交通安全県民運動スローガン
やさしさが 安全つなぐ 三重の道
～ 歩行者の ハンドサインは 赤信号 ～

※本資料では、和暦の表記について、本来令和元年とするところを、プログラムによる集計処理のため令和1年としています。

第1 三重県の交通事故発生状況

1 令和7年12月中に発生した交通事故

(令和7年12月中)

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身事故	237	242	-5	-2.1
死亡事故	3	6	-3	-50.0
死者数	3	7	-4	-57.1
負傷者数	283	273	10	3.7
物件事故	5,050	5,071	-21	-0.4

【注1】数字は単位未満で四捨五入してあるため、合計の数字と内訳の計が一致しない場合や、四捨五入前の数字を用いて計算した結果と表中の数字が一致しない場合もある。

【注2】物件事故はすべて暫定値である。

2 令和7年12月末の交通事故発生状況(累計)

(令和7年12月末)

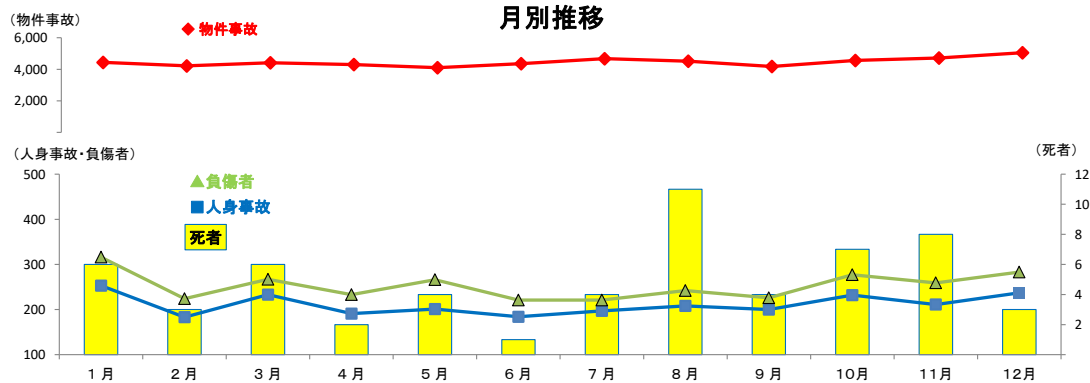
区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身事故	2,530	2,724	-194	-7.1
死亡事故	54	45	9	20.0
死者数	59	46	13	28.3
負傷者数	3,035	3,334	-299	-9.0
物件事故	53,503	53,056	447	0.8

3 交通事故の1日平均発生状況

人身事故	6.9 件(前年	7.4 件)
【死亡事故】	0.1 件(前年	0.1 件)】
死者数	0.2 人(前年	0.1 人)
負傷者数	8.3 人(前年	9.1 人)
物件事故	146.6 件(前年	145.0 件)

4 月別発生状況

項目 月別	人身事故						物件事故	
	件数		死者数		負傷者数		件数	前年比
	前年比		前年比		前年比			
1月	253	7	6	1	316	4	4,438	69
2月	183	-43	3	-1	224	-68	4,217	303
3月	233	-18	6	3	267	-36	4,411	-358
4月	191	-17	2		233	-20	4,297	125
5月	201	-36	4		266	-17	4,100	-160
6月	184	-25	1	-3	221	-24	4,354	407
7月	197	-34	4		221	-55	4,674	45
8月	208	-7	11	9	242	-41	4,511	-41
9月	200	-20	4		226	-48	4,177	-94
10月	232	16	7	3	277	5	4,560	150
11月	211	-12	8	5	259	-9	4,714	22
12月	237	-5	3	-4	283	10	5,050	-21



第2 全国・管区の交通事故発生状況

1 全国の交通事故発生状況

区分	令和7年	増減数	増減率
人身件数	287,023	-3,872	-1.3
死者数	2,547	-116	-4.4
負傷者数	338,508	-5,887	-1.7

※交通死者数のワースト10

順位	死者数	県名	順位	死者数	県名
1	139	神奈川県	6	120	大阪府
2	134	東京都	7	112	愛知県
3	129	北海道	8	98	兵庫県
4	125	埼玉県	9	85	福岡県
5	122	千葉県	10	82	茨城県

2 中部管区内の交通事故発生状況

区分	人身件数		死者数		負傷者数	
		前年比		前年比		前年比
富山	1,926	68	30	8	2,167	37
石川	1,879	87	32	2	2,132	95
福井	968	4	21	-2	1,096	-4
岐阜	2,856	21	55	-15	3,482	-1
愛知	24,793	287	112	-29	28,938	116
三重	2,530	-194	59	13	3,035	-299

3 全国における三重県の位置

(1) 死者数、増減数、増減率

死者数	59人	ワースト	13位
増減数	13人	ワースト	4位
増減率	28.3%	ワースト	6位

(2) 人口10万人当たりの死者数ワースト順位

ア 都道府県別

死者数59人は、人口10万人当たりの死者数では、3.45人で、全国ワースト8位であった。

(前年同期は、死者数が46人、人口10万人当たりの死者数2.66人で、ワースト24位)

※ 都道府県人口は、総務省資料「令和6年10月1日現在推計人口」を使用

イ 都市別 (全国259都市)

区分	10万人当死者数	ワースト順位	
桑名市	2.88人	ワースト	43位 (前年同期 84位)
四日市市	2.27人	ワースト	77位 (前年同期 162位)
鈴鹿市	4.60人	ワースト	12位 (前年同期 61位)
津市	1.11人	ワースト	168位 (前年同期 105位)
松阪市	3.81人	ワースト	21位 (前年同期 2位)
伊勢市	0.83人	ワースト	205位 (前年同期 126位)

※1 死者数を10万人当たりに換算し、全国順位を算出した。

※2 都市別人口は、総務省資料「住民基本台帳人口要覧(令和6年1月1日現在)」を使用

※3 県下の市町別死者数は、P11参照

※4 前年同期のワースト順位は260都市中の順位

第3 人身事故の特徴

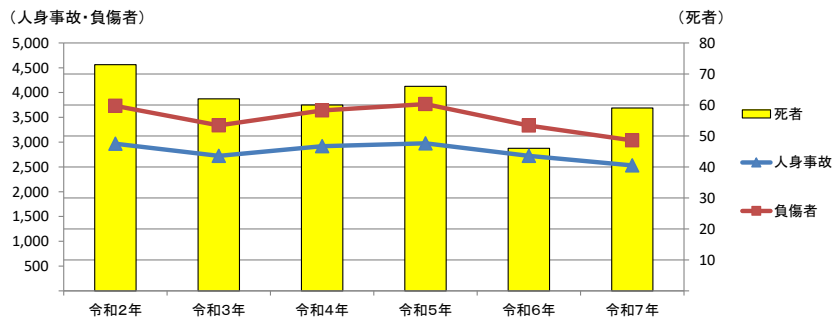
1 人身事故の特徴

- (1) 路線別では、人身事故は市町道が893件（35.3%）、次いで、一般国道が798件（31.5%）と多い。死亡事故は一般国道が21件（38.9%）、次いで、市町道が16件（29.6%）と多い。
- (2) 昼夜別では、昼間の人身事故が1,767件（69.8%）と多い。死亡事故は夜間での発生が28件（51.9%）と多い。
- (3) 地形別では、人身事故は市街地での発生が1,472件（58.2%）と多く、死亡事故は非市街地での発生が28件（51.9%）と多い。
- (4) 道路形状別では、人身事故は交差点等の発生が1,261件（49.8%）、次いで、一般単路の発生が976件（38.6%）と多い。死亡事故は一般単路での発生が24件（44.4%）、次いで、交差点等での発生が16件（29.6%）と多い。
- (5) 車両運転者（原付以上の第1当事者）の法令違反別では、悪質・危険な違反による人身事故が、402件（16.5%）発生している。
- (6) シートベルトの着用状況は、負傷者の着用率は95.5%に対し、死者の着用率は52.9%と低い。

(7) 人身事故等の推移（各年12月末）

区分	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	平均	令和7年
人身事故	2,966	2,722	2,917	2,976	2,724	2,861	2,530
負傷者	3,732	3,338	3,638	3,767	3,334	3,562	3,035
死者	73	62	60	66	46	61	59
致死率	1.92	1.82	1.62	1.72	1.36	1.69	1.91

※ 致死率 = 死者 ÷ (死者 + 負傷者) × 100 (%)



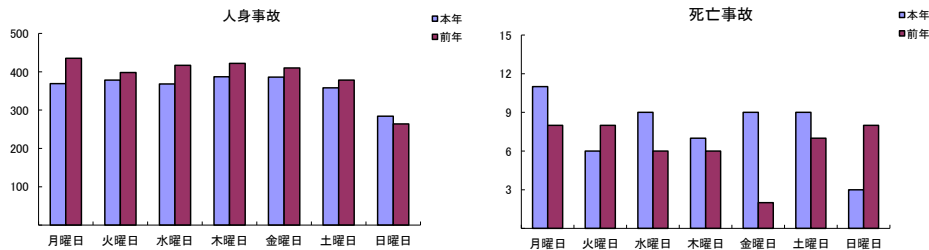
2 路線別

路線別	人身事故							
	件数	構成率			うち死亡事故			
		構成率	増減数	増減率	構成率	増減数	増減率	
高速道路	68	2.7	-19	-21.8	0.0	-3	-100.0	
名阪国道	37	1.5	15	68.2	1	1.9	1 …	
東海環状		0.0	-1	-100.0	0.0		…	
熊野尾鷲道路	7	0.3	5	250.0	1	1.9	1 …	
一般国道	798	31.5	-6	-0.7	21	38.9	3 16.7	
1号	132	5.2	39	41.9	5	9.3	4 400.0	
23号	315	12.5	-20	-6.0	3	5.6	-2 -40.0	
42号	61	2.4	13	27.1	2	3.7	1 100.0	
その他	290	11.5	-38	-11.6	11	20.4	0.0	
県道	583	23.0	-103	-15.0	11	20.4	1 10.0	
市道	820	32.4	-45	-5.2	14	25.9	3 27.3	
町道	73	2.9	-10	-12.0	2	3.7	2 …	
その他道路	144	5.7	-30	-17.2	4	7.4	1 33.3	
合計	2,530	100.0	-194	-7.1	54	100.0	9 20.0	

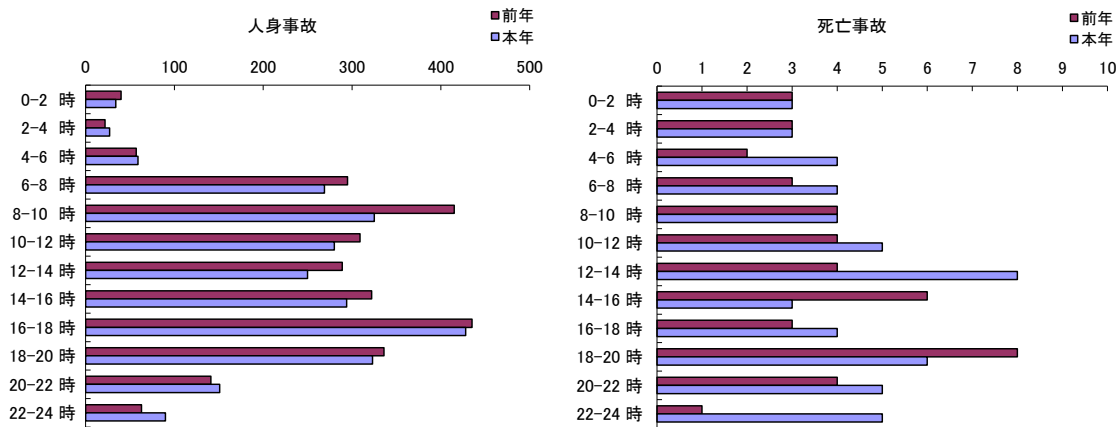
路線別	人数	死者数			負傷者数		
		構成率	増減数	増減率	構成率	増減数	増減率
高速道路		0.0	-3	-100.0	123	4.1	-34 -21.7
名阪国道	1	1.7	1	…	55	1.8	21 61.8
東海環状		0.0		…	0.0	-2	-100.0
熊野尾鷲道路	1	1.7	1	…	15	0.5	11 275.0
一般国道	25	42.4	6	31.6	1,023	33.7	-17 -1.6
1号	5	8.5	4	400.0	167	5.5	40 31.5
23号	3	5.1	-2	-40.0	423	13.9	-7 -1.6
42号	2	3.4	1	100.0	95	3.1	34 55.7
その他	15	25.4	3	25.0	338	11.1	-84 -19.9
県道	12	20.3	2	20.0	687	22.6	-120 -14.9
市道	14	23.7	3	27.3	886	29.2	-113 -11.3
町道	2	3.4	2	…	84	2.8	-15 -15.2
その他道路	4	6.8	1	33.3	162	5.3	-30 -15.6
合計	59	100.0	13	28.3	3,035	100.0	-299 -9.0

3 曜日別・時間別・昼夜別

(1) 曜日別



(2) 時間帯別



(3) 昼夜別

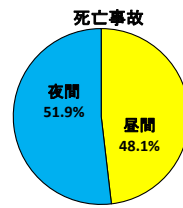
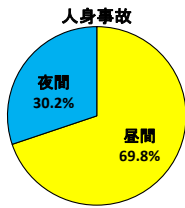
人身事故

区分	令和7年	構成率	増減数	増減率
昼間	1,767	69.8	-230	-11.5
夜間	763	30.2	36	5.0
合計	2,530	100.0	-194	-7.1

死亡事故

区分	令和7年	構成率	増減数	増減率
昼間	26	48.1	3	13.0
夜間	28	51.9	6	27.3
合計	54	100.0	9	20.0

※「昼」とは、日の出から日没までの間をいう。「夜」とは、日没から日の出までの間をいう。



4 地形別・道路形状別

(1) 地形別

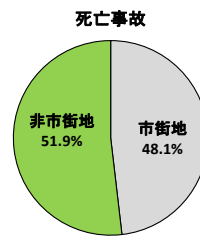
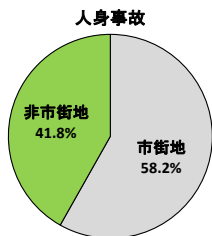
人身事故

区分	令和7年	構成率	増減数	増減率
市街地	1,472	58.2	-100	-6.4
非市街地	1,058	41.8	-94	-8.2
合計	2,530	100.0	-194	-7.1

死亡事故

区分	令和7年	構成率	増減数	増減率
市街地	26	48.1	5	23.8
非市街地	28	51.9	4	16.7
合計	54	100.0	9	20.0

※「市街地」とは、道路に沿っておおむね500メートル以上にわたって住宅、事業所等が連立し、又は混在して連立している状態であって、その地域における建造物（敷地を含む。）の占める割合が80%以上になるいわゆる市街地的形態をなしている地域をいう。「非市街地」とは、「市街地」以外の地域をいう。



(2) 道路形状別

人身事故

区分	令和7年	構成率	令和6年	増減数	増減率
交差点等	1,261	49.8	1,522	-261	-17.1
カーブ	99	3.9	97	2	2.1
一般単路	976	38.6	893	83	9.3
踏切	1	0.0		1	0.0
トンネル	20	0.8	10	10	100.0
橋	23	0.9	36	-13	-36.1
一般交通	150	5.9	166	-16	-9.6
合計	2,530	100.0	2,724	-194	-7.1

※「交差点等」は交差点付近(交差点から30m以内)を含む。

死亡事故

区分	令和7年	構成率	令和6年	増減数	増減率
交差点等	16	29.6	21	-5	-23.8
カーブ	10	18.5	9	1	11.1
一般単路	24	44.4	12	12	100.0
踏切		0.0			0.0
トンネル		0.0	1	-1	-100.0
橋		0.0			0.0
一般交通	4	7.4	2	2	100.0
合計	54	100.0	45	9	20.0

5 事故類型別

区分	人身事故				死亡事故				
	令和7年	構成率	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数		
人対車両	対面通行中	18	0.7	24	-6	1	1.9	1	
	背面通行中	37	1.5	28	9	2	3.7	2	
	横断中	横断歩道	88	3.5	102	-14		0.0	4
		横断歩道付近	6	0.2	8	-2		0.0	
		歩道橋付近		0.0				0.0	
		その他	46	1.8	49	-3	7	13.0	5
	小計	140	5.5	159	-19	7	13.0	9	
	路上遊戯中		0.0				0.0		
	路上作業中	7	0.3	5	2		0.0	1	
	路上停止中	9	0.4	6	3	1	1.9	1	
その他	63	2.5	64	-1	4	7.4	2		
小計	274	10.8	286	-12	15	27.8	14		
車両相互	正面衝突	81	3.2	95	-14	8	14.8	6	
	追突	進行中	101	4.0	100	1	1	1.9	1
		その他(駐・停車等)	803	31.7	947	-144		0.0	2
	小計	904	35.7	1,047	-143	1	1.9	3	
	出会い頭	615	24.3	634	-19	5	9.3	4	
	追越・追抜時	26	1.0	23	3		0.0		
	すれ違い時	35	1.4	46	-11		0.0		
	左折時	52	2.1	47	5		0.0		
右折時	174	6.9	173	1	2	3.7	2		
その他	305	12.1	315	-10	4	7.4	2		
小計	2,192	86.6	2,380	-188	20	37.0	17		
車両単独	工物	電柱	6	0.2	8	-2	3	5.6	3
		標識		0.0	2	-2		0.0	1
		分離帯安全島	1	0.0	4	-3		0.0	2
		防護柵等	9	0.4	9		2	3.7	2
		家屋・塀	6	0.2	2	4	1	1.9	1
		橋梁脚		0.0				0.0	
	その他	16	0.6	12	4	5	9.3	3	
	小計	38	1.5	37	1	11	20.4	10	
	駐車車両衝突	6	0.2	7	-1	1	1.9	1	
	路外転落	4	0.2	2	2	3	5.6	2	
その他		0.0	2	-2		0.0			
小計	4	0.2	4		3	5.6	2		
転倒	7	0.3	2	5	1	1.9	1		
その他	9	0.4	8	1	3	5.6	3		
小計	64	2.5	58	6	19	35.2	14		
列車		0.0				0.0			
合計	2,530	100.0	2,724	-194	54	100.0	45		

※事故類型とは、事故を当事者の種類(人又は車両)や当事者の事故時の行動(動き、位置、衝突物等)によって細かく分類したものである。

6 第1当事者の年齢層別

※ 第1当事者とは、交通事故に関与した人のうち、過失が最も重い者をいい、過失が同程度の場合は、被害が最も軽い者をいう。

人身事故

区 分	自動車 (四輪)		自動二輪車		原付車		自転車		歩行者		計	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
15歳以下	1	0.0		0.0	1	2.7	29	46.0	1	25.0	32	1.3
16～19歳	81	3.4	7	28.0	4	10.8	11	17.5		0.0	103	4.1
	260	10.9	4	16.0	2	5.4	4	6.3		0.0	270	10.7
16～24歳	341	14.4	11	44.0	6	16.2	15	23.8		0.0	373	14.7
25～29歳	212	8.9	1	4.0	2	5.4	2	3.2		0.0	217	8.6
30～39歳	304	12.8	5	20.0	3	8.1	2	3.2		0.0	314	12.4
40～49歳	356	15.0	2	8.0	4	10.8	1	1.6		0.0	363	14.3
50～59歳	389	16.4	2	8.0	4	10.8	3	4.8		0.0	398	15.7
60～64歳	156	6.6	3	12.0		0.0	2	3.2	2	50.0	163	6.4
	175	7.4		0.0	4	10.8	1	1.6		0.0	180	7.1
60～69歳	331	13.9	3	12.0	4	10.8	3	4.8	2	50.0	343	13.6
70～74歳	156	6.6		0.0	4	10.8		0.0		0.0	160	6.3
	148	6.2		0.0	3	8.1	1	1.6		0.0	152	6.0
75～79歳	137	5.8	1	4.0	6	16.2	7	11.1	1	25.0	152	6.0
80歳以上	441	18.6	1	4.0	13	35.1	8	12.7	1	25.0	464	18.3
65歳以上	616	25.9	1	4.0	17	45.9	9	14.3	1	25.0	644	25.5
合計	2,375	100.0	25	100.0	37	100.0	63	100.0	4	100.0	2,530	100.0
不明	26	1.0										

注1) 率は、車種別の合計に占める各年齢層の構成割合を示す。
ただし、不明は、全事故件数に占める構成割合を示す。

注2) 合計欄の数値は、不明を含んだ数値である。

区 分	件数	率
原付車以上車両運転者	2,437	96.3
うち若年運転者	358	14.7
うち高齢運転者	634	26.0

死亡事故

区 分	自動車 (四輪)		自動二輪車		原付車		自転車		歩行者		計	
	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率	件数	率
15歳以下		0.0		0.0		0.0		--		--		0.0
16～19歳	2	3.9		0.0		0.0		--		--	2	3.7
	1	2.0		0.0		0.0		--		--	1	1.9
16～24歳	3	5.9		0.0		0.0		--		--	3	5.6
25～29歳	2	3.9		0.0		0.0		--		--	2	3.7
30～39歳	5	9.8		0.0		0.0		--		--	5	9.3
40～49歳	12	23.5		0.0		0.0		--		--	12	22.2
50～59歳	10	19.6		0.0		0.0		--		--	10	18.5
60～64歳	3	5.9	1	100.0		0.0		--		--	4	7.4
	3	5.9		0.0		0.0		--		--	3	5.6
60～69歳	6	11.8	1	100.0		0.0		--		--	7	13.0
70～74歳	3	5.9		0.0		0.0		--		--	3	5.6
	2	3.9		0.0		0.0		--		--	2	3.7
75～79歳	8	15.7		0.0	2	100.0		--		--	10	18.5
80歳以上	13	25.5		0.0	2	100.0		--		--	15	27.8
65歳以上	16	31.4		.0	2	100.0		--		--	18	33.3
合計	51	100.0	1	100.0	2	100.0		100.0		100.0	54	100.0
不明		.0										

注1) 率は車種別の合計に占める各年齢層の構成割合を示す。
ただし、不明は、全事故件数に占める構成割合を示す。

注2) 合計欄の数値は、不明を含んだ数値である。

区 分	件数	率
原付車以上車両運転者	54	100.0
うち若年運転者	3	5.6
うち高齢運転者	18	33.3

7 第1当事者の法令違反別

(1) 車両(原付以上)の主な違反

区分	人身事故 (構成率)		死亡事故 (構成率)	
最高速度違反	8件	0.3%	5件	9.3%
信号無視	107件	4.4%	1件	1.9%
通行区分・追越し	19件	0.8%	3件	5.6%
一時不停止	159件	6.5%	1件	1.9%
歩行者妨害等	84件	3.4%	0件	0.0%
酒酔い運転	0件	0.0%	0件	0.0%
自転車妨害等	25件	1.0%	0件	0.0%
悪質危険な違反計	402件	16.5%	10件	18.5%
動静不注視	473件	19.4%	2件	3.7%
安全不確認	611件	25.1%	3件	5.6%
前方不注意	523件	21.5%	23件	42.6%

(2) 自転車の主な法令違反

自転車乗用中の者が第1当事者となった人身事故は63件発生しており、安全不確認が21件(33.3%)、一時不停止が19件(30.2%)と多い。

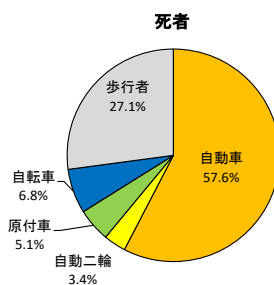
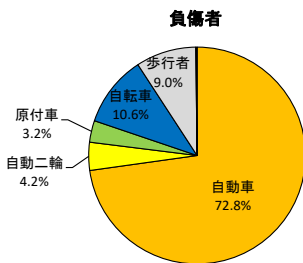
8 第1当事者の居住地別

区分	人身事故 (構成率)		死亡事故 (構成率)	
県内居住者	2,195件	86.8%	48件	88.9%
うち発生 署管内	1,467件 (県内居住者の 66.8%)		34件 (県内居住者の 70.8%)	
県外居住者	308件	12.2%	6件	11.1%
不明	27件	1.1%	0件	0.0%

9 状態別・年齢層別死傷者

(1) 状態別

区分	負傷者数				死者数				負傷者	死者
	令和7年	令和6年	増減数	増減率	令和7年	令和6年	増減数	増減率	構成率	構成率
自動車	2,209	2,453	-244	-9.9	34	23	11	47.8	72.8	57.6
自動二輪	127	132	-5	-3.8	2	2	0	0.0	4.2	3.4
原付車	98	129	-31	-24.0	3	2	1	50.0	3.2	5.1
自転車	322	323	-1	-0.3	4	4	0	0.0	10.6	6.8
歩行者	273	293	-20	-6.8	16	15	1	6.7	9.0	27.1
その他	6	4	2	50.0	0	0	0	--	0.2	0.0
計	3,035	3,334	-299	-9.0	59	46	13	28.3	100.0	100.0



(2) 年齢層別

区 分	人身事故				
	負傷者数	構成率	増減数	増減率	
15 歳 以 下	194	6.4	-8	-4.0	
16 ~ 24 歳	16~19歳	152	5.0	23	17.8
	20~24歳	265	8.7	-14	-5.0
25 ~ 29 歳	417	13.7	9	2.2	
30 ~ 39 歳	260	8.6	-16	-5.8	
40 ~ 49 歳	448	14.8	-102	-18.5	
50 ~ 59 歳	516	17.0	-76	-12.8	
60 ~ 69 歳	60~64歳	552	18.2	-60	-9.8
	65~69歳	190	6.3	-8	-4.0
70 歳 以 上	70~74歳	133	4.4	-9	-6.3
	75~79歳	323	10.6	-17	-5.0
70 歳 以 上	70~74歳	114	3.8	-25	-18.0
	75~79歳	89	2.9	-31	-25.8
	80歳以上	122	4.0	27	28.4
合 計	3,035	100.0	-299	-9.0	

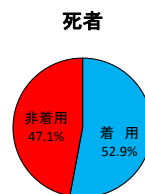
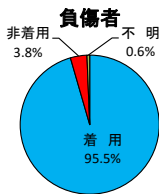
区 分	死亡事故				
	死者数	構成率	増減数	増減率	
15 歳 以 下	1	1.7	1	---	
16 ~ 24 歳	16~19歳	5	8.5	3	150.0
	20~24歳	4	6.8	2	100.0
25 ~ 29 歳	9	15.3	5	125.0	
30 ~ 39 歳	2	3.4	1	100.0	
40 ~ 49 歳	2	3.4	-4	-66.7	
50 ~ 59 歳	4	6.8	3	300.0	
60 ~ 69 歳	60~64歳	3	5.1	-2	-40.0
	65~69歳	4	6.8		.0
70 歳 以 上	70~74歳	3	5.1	1	50.0
	75~79歳	7	11.9	1	16.7
70 歳 以 上	70~74歳	5	8.5		.0
	75~79歳	7	11.9	3	75.0
	80歳以上	19	32.2	5	35.7
合 計	31	52.5	8	34.8	
65 歳 以 上	34	57.6	9	36.0	
合 計	59	100.0	13	28.3	

10 シートベルトの着用状況

区 分	負傷者数	構成率
着 用	2,110	95.5
非 着 用	85	3.8
不 明	14	0.6
合 計	2,209	100.0

区 分	死者数	構成率
着 用	18	52.9
非 着 用	16	47.1
不 明	0	0.0
合 計	34	100.0

※死者の非着用者16人のうち4人は、着用していれば助かったと推定される。



11 飲酒運転事故

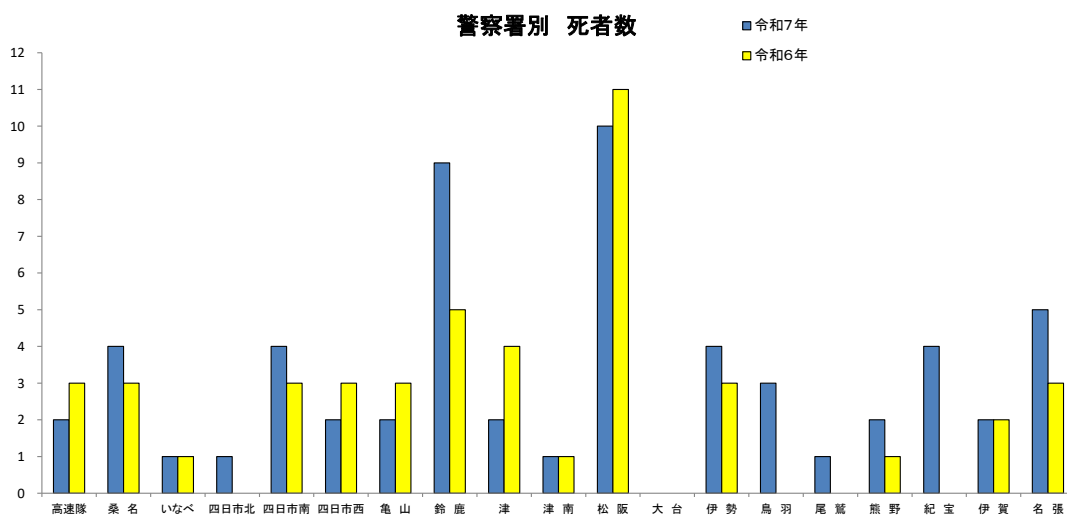
(原付以上の第1当事者)

区 分	人身事故					死亡事故				
	令和7年	構成率	令和6年	増減数	増減率	令和7年	構成率	令和6年	増減数	増減率
酒 酔 い	0	0.0	4	-4	-100.0	0	0.0	0	0	---
酒気帯び(0.25以上)	32	78.0	27	5	18.5	2	66.7	5	-3	-60.0
酒気帯び(0.25未満)	5	12.2	2	3	150.0	1	33.3	0	1	---
基 準 以 下	1	2.4	4	-3	-75.0	0	0.0	1	-1	-100.0
検 知 不 能	3	7.3	4	-1	-25.0	0	0.0	0	0	---
合 計	41	100.0	41	0	0.0	3	100.0	6	-3	-50.0

原 付 以 上 の 飲 酒 事 故 構 成 率	人身事故	2,437 件中	41 件	構成率	1.7% (前年 1.6%)
	死亡事故	54 件中	3 件	構成率	5.6% (前年 13.6%)

12 警察署別

区 分	人身事故件数			死 者 数			負 傷 者 数			物件事故件数		
	令和7年	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数	令和7年	令和6年	増減数
高 速 隊	112	112	0	2	3	-1	193	197	-4	2,521	2,424	97
桑 名	190	172	18	4	3	1	241	206	35	4,619	4,298	321
い な べ	148	120	28	1	1	0	171	149	22	1,619	1,700	-81
四 日 市 北	251	235	16	1	0	1	301	282	19	4,050	4,042	8
四 日 市 南	304	359	-55	4	3	1	344	423	-79	6,086	6,017	69
四 日 市 西	51	62	-11	2	3	-1	55	69	-14	1,718	1,683	35
亀 山	77	63	14	2	3	-1	99	80	19	1,384	1,308	76
鈴 鹿	249	255	-6	9	5	4	287	326	-39	5,624	5,492	132
津	297	377	-80	2	4	-2	346	465	-119	5,461	5,384	77
津 南	122	166	-44	1	1	0	142	193	-51	2,804	3,066	-262
松 阪	254	288	-34	10	11	-1	283	338	-55	5,730	5,672	58
大 台	15	10	5	0	0	0	21	10	11	318	330	-12
伊 勢	206	221	-15	4	3	1	253	266	-13	4,464	4,570	-106
鳥 羽	49	45	4	3	0	3	55	52	3	1,494	1,481	13
尾 鷲	12	13	-1	1	0	1	15	15	0	515	508	7
熊 野	24	27	-3	2	1	1	24	36	-12	384	348	36
紀 宝	19	17	2	4	0	4	34	21	13	333	349	-16
伊 賀	89	118	-29	2	2	0	102	139	-37	2,390	2,329	61
名 張	61	64	-3	5	3	2	69	67	2	1,989	2,055	-66
合 計	2,530	2,724	-194	59	46	13	3,035	3,334	-299	53,503	53,056	447



13 市町別

市 町 名	人身件数	増減数	死者数	増減数	負傷者数	増減数
桑 名 市	178	18	4	1	228	34
木 曾 岬 町	12	0	0	0	13	1
い な べ 市	103	34	1	0	114	27
東 員 町	45	-6	0	0	57	-5
朝 日 町	21	2	0	0	29	8
川 越 町	49	17	0	0	65	28
四 日 市 市	512	-47	7	3	578	-85
菰 野 町	24	-22	0	-2	28	-25
亀 山 市	77	14	2	-1	99	19
鈴 鹿 市	249	-6	9	4	287	-39
津 市	419	-124	3	-2	488	-170
松 阪 市	211	-28	6	-4	232	-50
多 気 町	13	-2	1	1	17	-1
明 和 町	30	-4	3	2	34	-4
大 台 町	10	2	0	0	13	5
大 紀 町	5	3	0	0	8	6
伊 勢 市	180	-2	1	-1	218	6
玉 城 町	13	-11	0	0	19	-14
南 伊 勢 町	7	-2	2	1	8	-7
度 会 町	6	0	1	1	8	2
鳥 羽 市	15	1	1	1	18	2
志 摩 市	34	3	2	2	37	1
尾 鷲 市	7	0	1	1	6	-1
紀 北 町	5	-1	0	0	9	1
熊 野 市	25	-2	2	1	25	-11
御 浜 町	8	-1	2	2	24	12
紀 宝 町	10	2	2	2	9	0
伊 賀 市	93	-31	2	-1	107	-37
名 張 市	57	-1	5	3	64	2
高 速 隊	112	0	2	-1	193	-4
合 計	2,530	-194	59	13	3,035	-299

14 各種別

(1) 子供の事故

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身件数	102	88	14	15.9
死者数	1		1	—
負傷者数	176	175	1	0.6

(2) 高校生の事故

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身件数	86	83	3	3.6
死者数	2	1	1	100.0
負傷者数	98	96	2	2.1

(3) 若年者の事故

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身件数	635	645	-10	-1.6
死者数	9	4	5	125.0
負傷者数	417	408	9	2.2

(4) 高齢者の事故

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身件数	902	925	-23	-2.5
死者数	34	25	9	36.0
負傷者数	458	496	-38	-7.7

(5) 歩行者の事故

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身件数	274	286	-12	-4.2
死者数	16	15	1	6.7
負傷者数	273	293	-20	-6.8

(6) 自転車の事故

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身件数	332	324	8	2.5
死者数	4	4		0.0
負傷者数	322	323	-1	-0.3

(7) 二輪車の事故

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身件数	245	274	-29	-10.6
死者数	5	4	1	25.0
負傷者数	225	261	-36	-13.8

(8) 飲酒の事故

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身件数	41	41		0.0
死者数	7	6	1	16.7
負傷者数	57	54	3	5.6

(9) 無免許の事故

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身件数	38	36	2	5.6
死者数	1	1		0.0
負傷者数	45	48	-3	-6.3

(10) 若年ドライバー事故

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身件数	358	378	-20	-5.3
死者数	7	5	2	40.0
負傷者数	444	487	-43	-8.8

(11) 高齢ドライバー事故

区分	令和7年	令和6年	増減数	増減率
人身件数	634	638	-4	-0.6
死者数	18	17	1	5.9
負傷者数	740	759	-19	-2.5

注1) 若年ドライバー事故は、若年者が第1当事者として
関与した事故で、死傷者数は若年者自身を含む当該
事故によるすべての死傷者数を計上したものである。

また、高齢ドライバー事故も同じ計上方法である。

注2) こどもとは中学生以下を、高齢者とは65歳以上をいい、
若年者とは16～24歳の者をいう。